



**Well-Beingアンケート 因子別**

自治体

21 岐阜県  
22 静岡県

静岡県静岡市  
静岡県浜松市  
静岡県沼津市  
静岡県熱海市  
静岡県三島市  
静岡県富士宮市  
静岡県伊東市

区 (政令市の主観のみ有効)

清水区

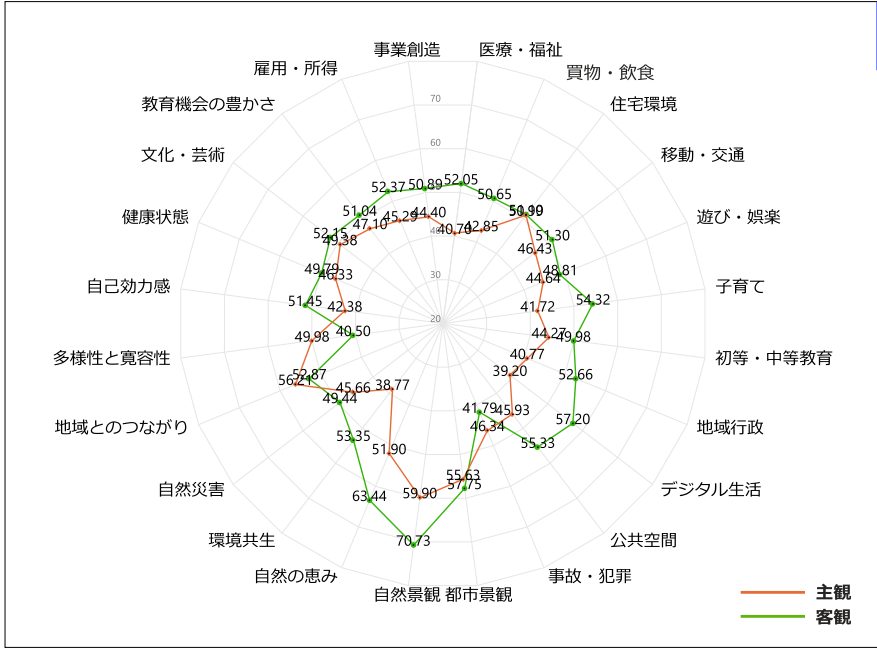
回答者数 **386**

性別

157 (40.7%) 男性  
226 (58.5%) 女性  
その他

年代

80代以上 3  
70代 42  
60代 96  
50代 130  
40代 78  
30代 38  
20代 9



清水区  
黄色 主観が高い  
ピンク 主観が低い



因子	主観	客観
医療・福祉	40.70	52.05
買物・飲食	42.85	50.65
住宅環境	50.99	51.10
移動・交通	46.43	51.30
遊び・娯楽	44.64	48.81
子育て	41.72	54.32
初等・中等教育	44.27	49.98
地域行政	40.77	52.66
デジタル生活	39.20	57.20
公共空間	45.93	55.33
事故・犯罪	46.34	41.79
都市景観	55.63	57.75
自然景観	59.90	70.73
自然の恵み	51.90	63.44
環境共生	38.77	53.35
自然災害	45.66	49.44
地域とのつながり	56.21	52.87
多様性と寛容性	49.98	40.50
自己効力感	42.38	51.45
健康状態	46.33	49.79
文化・芸術	49.38	52.15
教育機会の豊かさ	47.10	51.04
雇用・所得	45.29	52.37
事業創造	44.40	50.89



- スタート
- 総合
- 因子別
- 主観詳細
- 客観詳細

### Well-Beingアンケート 因子別

自治体 選択解除

Search

- 39 高知県
- 40 福岡県
- 41 佐賀県
- 42 長崎県
- 43 熊本県
- 44 大分県
- 45 宮崎県
- 46 鹿児島県
- 47 沖縄県

区 (政令市の主観のみ有効) 解除

All

回答者数  
**3,906**

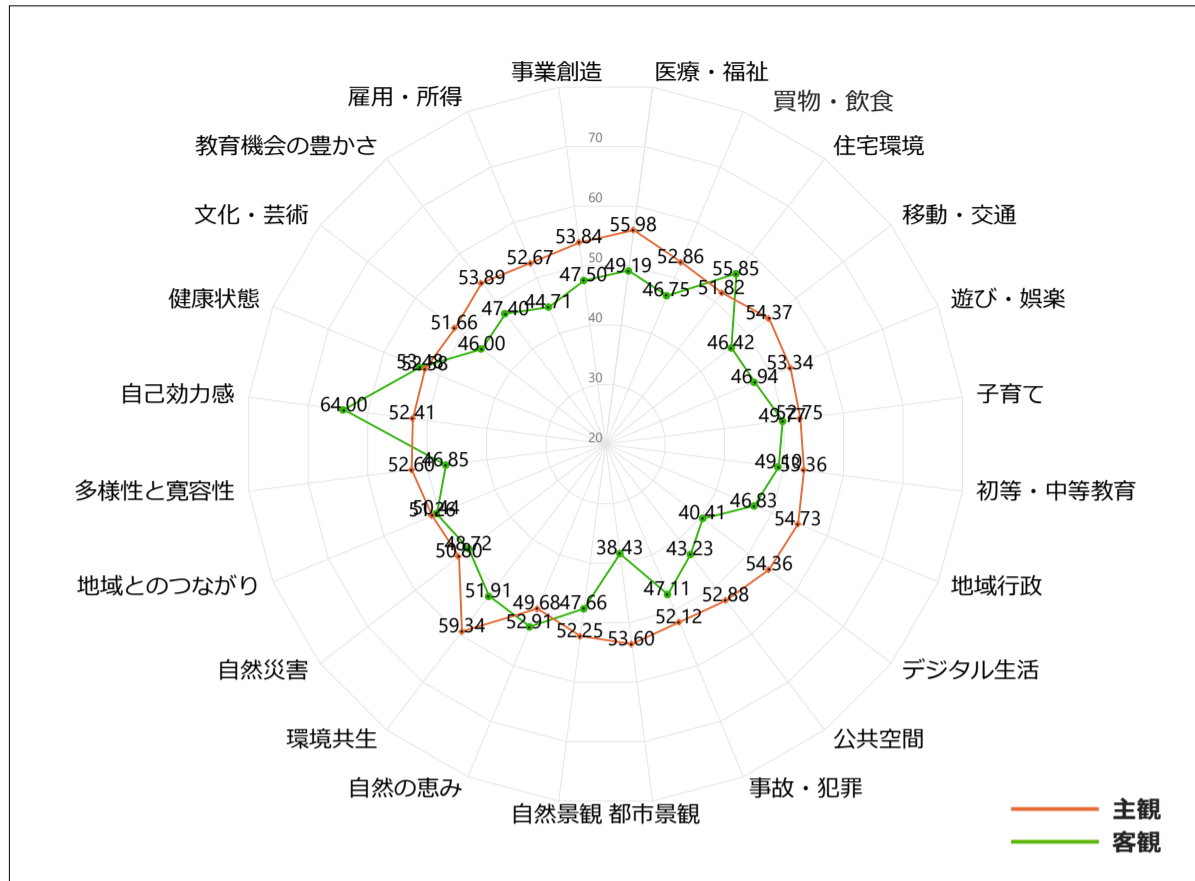
性別

1901 (48.7%)  
1986 (50.8%)

性別  
● 男性  
● 女性  
● その他

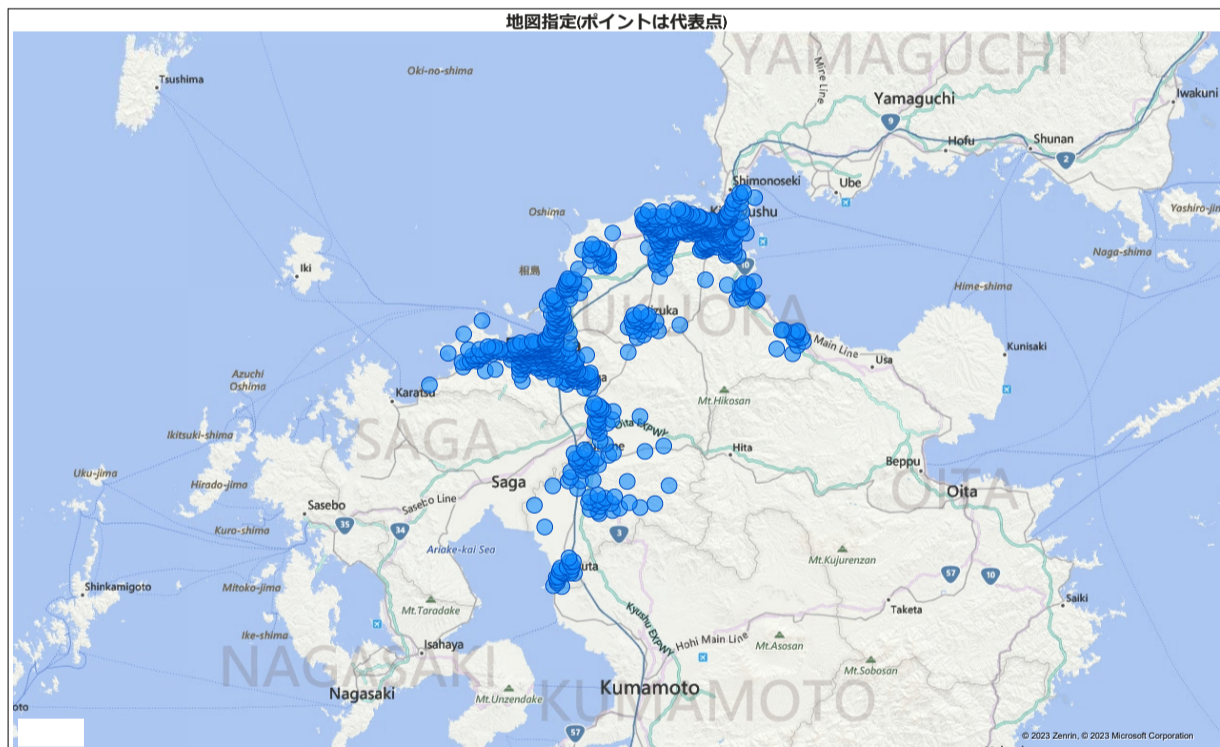
年代

80代以上	42
70代	430
60代	946
50代	1077
40代	838
30代	427
20代	133
10代	13
0	1,000



福岡県  
黄色 主観が大幅に高い

<客観データに関する注意>  
本ツールの仕様上、**客観データは単一の基礎自治体を選択した時のみ正確な値**が表示されます。左上の自治体パネルにて、何も選択していない状態 (=全ての自治体を選んでいる状態と同じ) や都道府県を選んでいる状態も同様に、客観データに限り不正確な値が表示されます。都道府県単位の正確な値を知りたい場合は都道府県版のダッシュボードをご利用ください。



因子	主観	客観
医療・福祉	55.98	49.19
買物・飲食	52.86	46.75
住宅環境	51.82	55.85
移動・交通	54.37	46.42
遊び・娯楽	53.34	46.94
子育て	52.75	49.77
初等・中等教育	53.36	49.10
地域行政	54.73	46.83
デジタル生活	54.36	40.41
公共空間	52.88	43.23
事故・犯罪	52.12	47.11
都市景観	53.60	38.43
自然景観	52.25	47.66
自然の恵み	49.68	52.91
環境共生	59.34	51.91
自然災害	50.80	48.72
地域とのつながり	51.26	50.44
多様性と寛容性	52.60	46.85
自己効力感	52.41	64.00
健康状態	52.58	53.48
文化・芸術	51.66	46.00
教育機会の豊かさ	53.89	47.40
雇用・所得	52.67	44.71
事業創造	53.84	47.50



**Well-Beingアンケート 因子別**

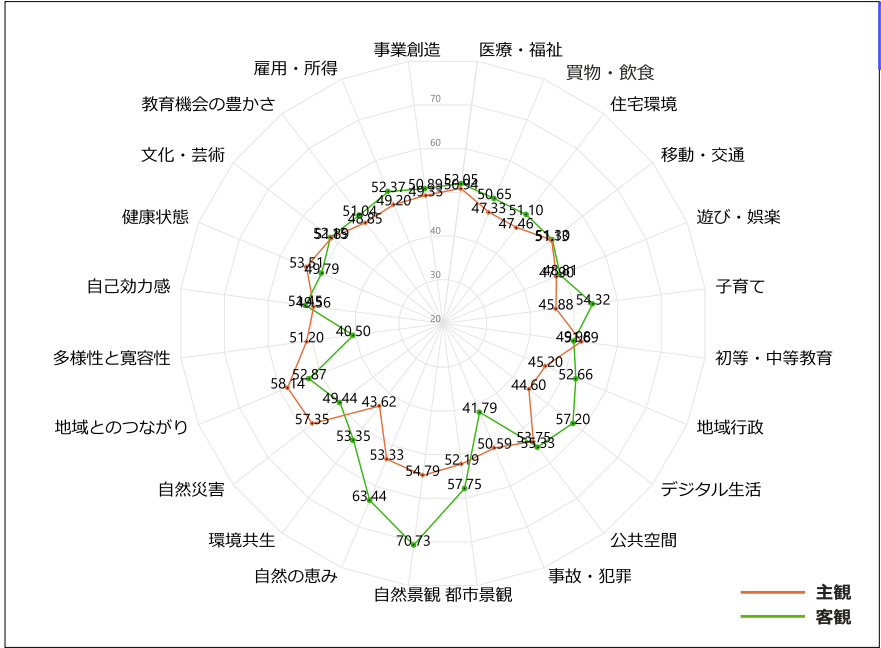
自治体: 21 静岡県, 22 静岡県

区 (政令市の主観のみ有効): 葵区

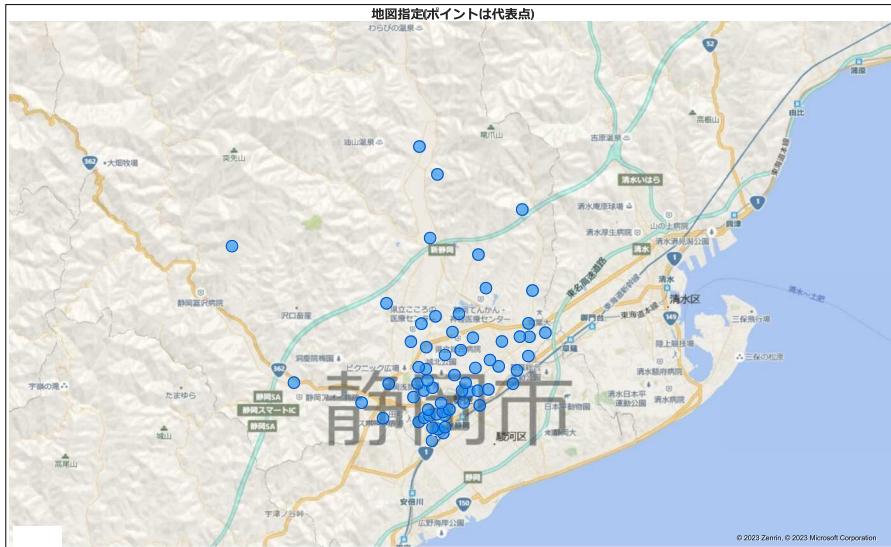
回答者数: **418**

性別: 男性 185 (44.3%), 女性 229 (54.8%), その他

年代: 80代以上 4, 70代 45, 60代 116, 50代 135, 40代 73, 30代 34, 20代 10



黄色 主観が高い  
ピンク 主観が低い



因子	主観	客観
医療・福祉	50.94	52.05
買物・飲食	47.33	50.65
住宅環境	47.46	51.10
移動・交通	51.13	51.30
遊び・娯楽	47.90	48.81
子育て	45.88	54.32
初等・中等教育	51.69	49.98
地域行政	45.20	52.66
デジタル生活	44.60	57.20
公共空間	53.75	55.33
事故・犯罪	50.59	41.79
都市景観	52.19	57.75
自然景観	54.79	70.73
自然の恵み	53.33	63.44
環境共生	43.62	53.35
自然災害	57.35	49.44
地域とのつながり	58.14	52.87
多様性と寛容性	51.20	40.50
自己効力感	49.56	51.45
健康状態	53.51	49.79
文化・芸術	51.89	52.15
教育機会の豊かさ	48.85	51.04
雇用・所得	49.20	52.37
事業創造	49.33	50.89

- スタート
- 総合
- 因子別
- 主観詳細
- 客観詳細

### Well-Beingアンケート 因子別

**自治体** 選択解除

Search

- 神奈川県平塚市
- 神奈川県鎌倉市
- 神奈川県藤沢市
- 神奈川県小田原市
- 神奈川県茅ヶ崎市
- 神奈川県逗子市
- 神奈川県三浦市
- 神奈川県秦野市
- 神奈川県厚木市

**区 (政令市の主観のみ有効)** 解除

All

---

**回答者数**  
125

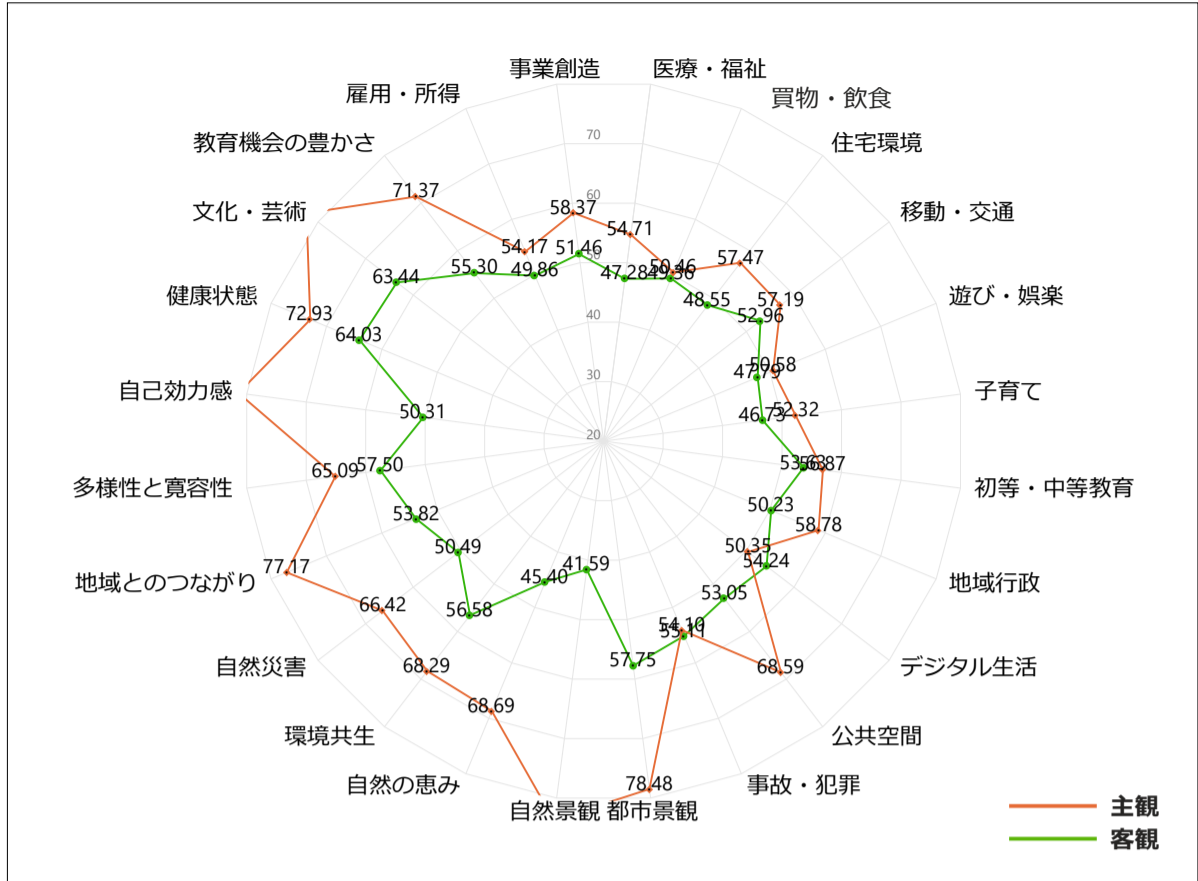
**性別**

46 (36.8%)  
79 (63.2%)

性別  
● 男性  
● 女性

**年代**

70代	28
60代	30
50代	33
40代	26
30代	5



鎌倉市  
黄色 主観が大幅に高い

<客観データに関する注意>  
本ツールの仕様上、**客観データは単一の基礎自治体を選択した時のみ正確な値**が表示されます。左上の自治体パネルにて、何も選択していない状態 (=全ての自治体を選んでいる状態と同じ) や都道府県を選んでいる状態も同様に、客観データに限り不正確な値が表示されます。都道府県単位の正確な値を知りたい場合は都道府県版のダッシュボードをご利用ください。



因子	主観	客観
医療・福祉	54.71	47.28
買物・飲食	50.46	49.36
住宅環境	57.47	48.55
移動・交通	57.19	52.96
遊び・娯楽	50.58	47.79
子育て	52.32	46.73
初等・中等教育	56.87	53.63
地域行政	58.78	50.23
デジタル生活	50.35	54.24
公共空間	68.59	53.05
事故・犯罪	54.10	55.11
都市景観	78.48	57.75
自然景観	83.69	41.59
自然の恵み	68.69	45.40
環境共生	68.29	56.58
自然災害	66.42	50.49
地域とのつながり	77.17	53.82
多様性と寛容性	65.09	57.50
自己効力感	81.39	50.31
健康状態	72.93	64.03
文化・芸術	82.42	63.44
教育機会の豊かさ	71.37	55.30
雇用・所得	54.17	49.86
事業創造	58.37	51.46



**Well-Beingアンケート 因子別**

自治体: 21 岐阜県, 22 静岡県

区 (政令市の主観のみ有効): 駿河区

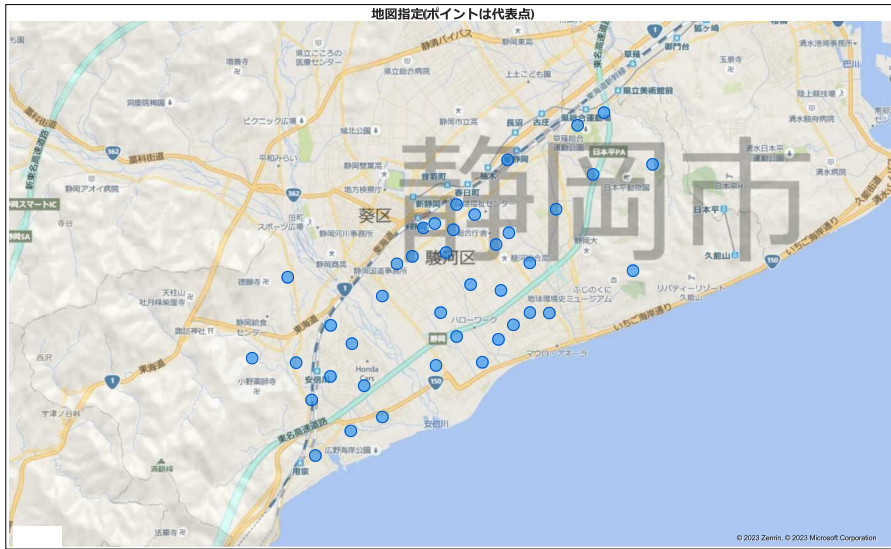
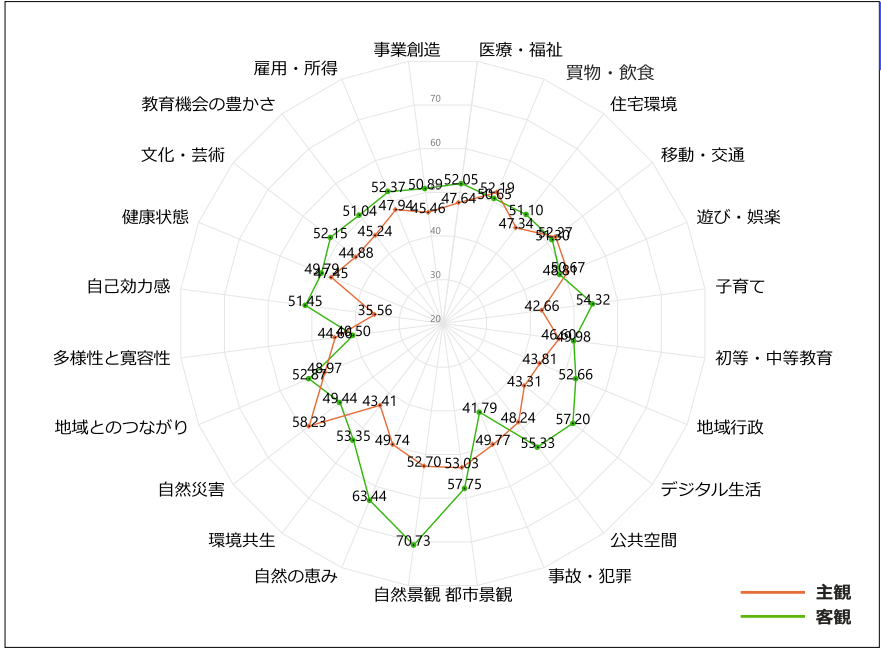
回答者数: **334**

**性別**

男性: 179 (53.6%)  
女性: 155 (46.4%)

**年代**

80代以上	7
70代	38
60代	85
50代	96
40代	67
30代	33
20代	8



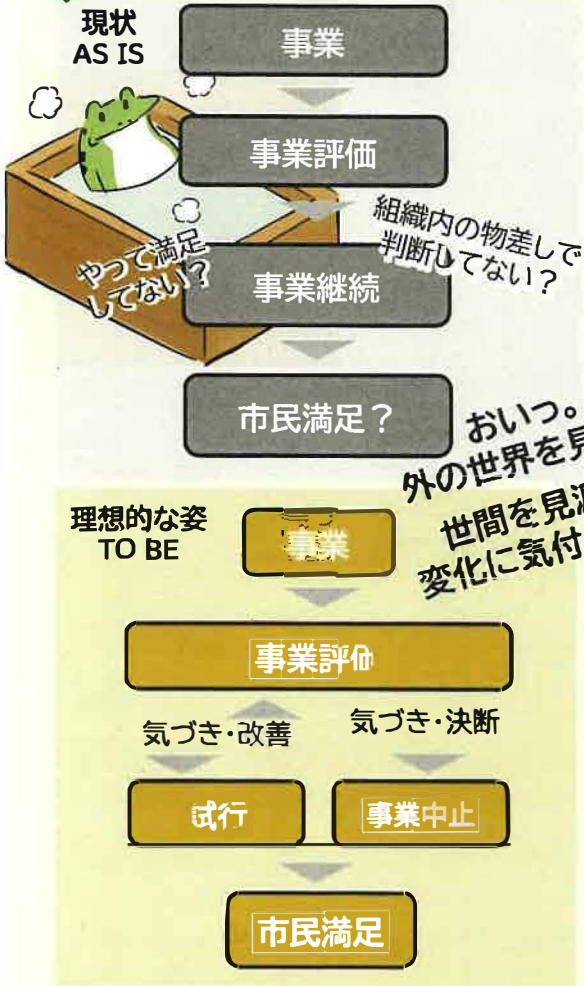
因子	主観	客観
医療・福祉	47.64	52.05
買物・飲食	52.19	50.65
住宅環境	47.34	51.10
移動・交通	52.27	51.30
遊び・娯楽	50.67	48.81
子育て	42.66	54.32
初等・中等教育	46.60	49.98
地域行政	43.81	52.66
デジタル生活	43.31	57.20
公共空間	48.24	55.33
事故・犯罪	49.77	41.79
都市景観	53.03	57.75
自然景観	52.70	70.73
自然の恵み	49.74	63.44
環境共生	43.41	53.35
自然災害	58.23	49.44
地域とのつながり	48.97	52.87
多様性と寛容性	44.88	40.50
自己効力感	35.56	51.45
健康状態	47.45	49.79
文化・芸術	44.88	52.15
教育機会の豊かさ	45.24	51.04
雇用・所得	47.94	52.37
事業創造	45.46	50.89

# ゆでガエル脱出大作戦

ゆでガエルの法則とは、危険が迫っているにもかかわらず、変化がゆるやかなため気がつかず、気づいたときには手遅れになっている、という状況を示す。

R5. 8月23日 5班

## 課題 1 「失敗しちゃダメ」、 「変化を恐れる」という組織風土



## 提言 2 組織内の横ぐしと組織を超えた繋がりをつくる



### 提言① 組織内の縦割りの打破！ 部署間コミュニケーションの活性化

Slackなどのオンラインコミュニケーションツールを導入し、職員間、部署間でのコミュニケーションを活性化し、事業の企画段階から多角的な視点が入るようにする。現在、事業の企画や実施において、部署内だけで決定され、全庁的、横断的な視点が入らない状況は、最適な公共サービスの提供に至っていない可能性がある。

→導入にあたり不可欠である「ルールやポリシーの設定」に取り組む必要がある！

### 提言② 組織横断的なプラットフォーム設立

行政内部だけでなく組織外コミュニケーションを活性化し、それぞれのリソースを社会に還元することを目的に、民間企業との横断的なプラットフォームを設立する。

【組織】市が呼びかけ、市職員及び市内複数の企業が参加

【テーマ】社会課題などテーマはなんでもOK！組織横断的に様々な意見交換を実施。市長や経営者に意見交換の内容を提言する機会があっても良い！

【参考PF】カマコン、ONE JAPAN

→プラットフォームの運用は、直接対話だけでなく、Slackのようなツールを活用すれば更なる活性化に期待できる！

## 効果 3

### 1. 自分たちの認識の更新



組織内の常識に縛られずに、多様な価値観を受容し、部署横断的、さらに組織(行政と民間)を横断し、多角的に物事をみれるようになる。

### 2. 市民に還元できる機会(取組)の増加

部署間、官民間のリソースを最大限に活用し公共サービスに繋げることができる。

行政と民間がお互いを知ることによって、多様な面で共創による社会貢献の幅が広がる。

